

ULはDALI-2プロトコルテスト DiiA認定エキスパート

DALI-2仕様のLEDドライバー、コントローラ、デバイスのグローバルな相互運用性および適合性を認証

マルチベンダーの相互運用性により、ユーザーの使いやすさが向上

世界中で220以上のDigital Illumination Interface Alliance (DiiA) のメンバーが、規格化されたDigital Addressable Lighting Interface (DALI) を利用して、照明製品やコンポーネントを開発しています。これは、複数のPartから成る国際規格IEC 62386で規定されています。

2019年12月31日で、DALIバージョン1 LEDドライバーの登録は終了しました。

第2世代のプロトコルであるDALI-2には、押しボタンスイッチ、カプラー、在室検知センサー、光センサーなどのアプリケーションコントローラーや入力デバイスが追加されました。バスタイミングやバスパワーなどの仕様を明確にすることで、複数のデバイスやベンダー間の相互運用性が向上します。極性の影響を受けないため、設置が容易になります。バスパワーユニットの配線が少なく、複数の論理ユニットで製品のコストパフォーマンスをさらに高めることができます。フェード時間が100ミリ秒から16分に延長されており、エンドユーザーが快適に使用でき、柔軟性も向上しました。光源タイプのクエリも含まれているため、メンテナンスが容易になります。

DiiA認定の国際的な試験機関であるULが、DALI-2仕様の適合性に対するテストを実施



 Digital Illumination Interface Alliance

DALI-2製品を認証するために新たに設定されたプロセスの一環として、DiiAにより、テスト結果を独自に検証されます。認定試験所のULが発行したテスト結果を、この検証プロセス向けに利用することができます。この新しいプロセスにより、DALIバージョン1で確立されていた自己宣言のみによる相互運用性評価の問題点を解決することができます。

この認証プロセスは、建物の所有者に利点があります。DALI-2により、複数のベンダー間での照明製品の相互運用性が保証されます。投資を確実なものにするために役立ちます。



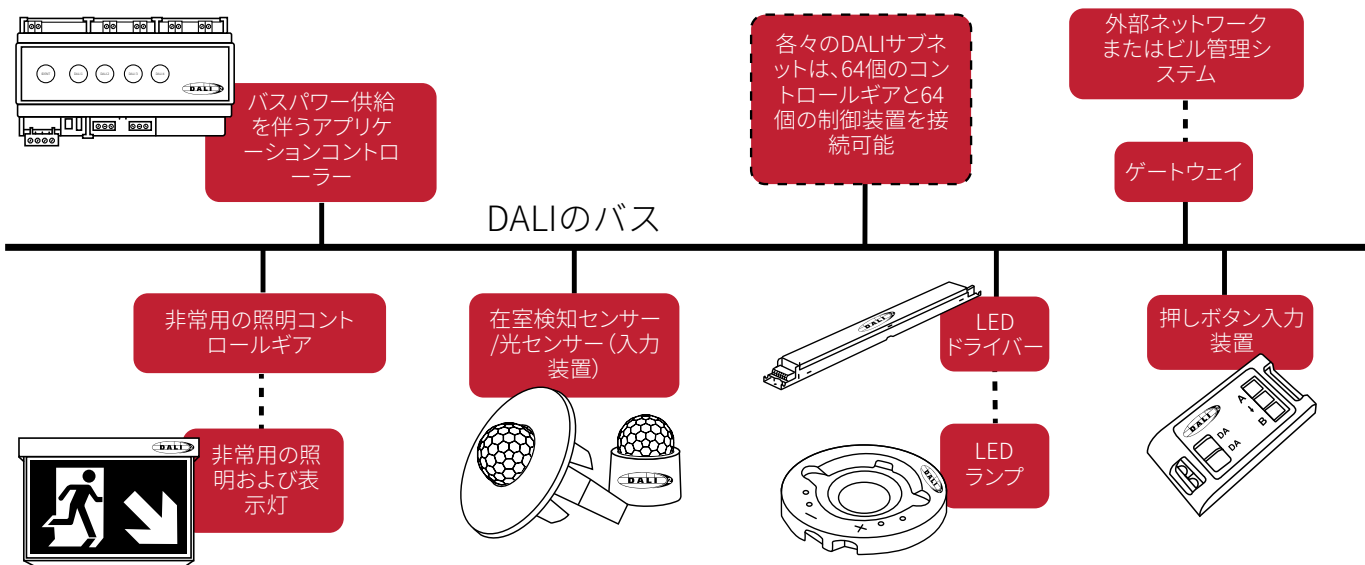
ULをご活用いただくメリット

ULは、ワイヤレス接続の相互運用性テストに関して豊富な経験があり、照明業界において信頼していただける存在です。

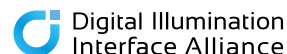
現段階では、2線式のDALIバスと無線通信プロトコルを組み合わせる規格がありませんが、規格がなくても無線接続は可能です。DiiAは、DALI-2エンドツーエンド通信を確立するための基礎となる無線キャリアとしてのZigbee、Thread、Bluetoothなどのアプリケーションゲートウェイソリューション用の規格を策定することを発表しました。ULはすでに認定機関として、これら3つの無線技術に対応しています。



DALI製品の種類



DALI照明制御システムの一例



詳細については、ULJ.Lighting@ul.comまでご連絡ください。



Empowering Trust®